

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2009年第16週
(4月13日～4月19日)

- * 2009年4月22日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2009年3月)の疾患と感染症豆知識「狂犬病」も掲載しています。
- * オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況を14頁に掲載しています。

平成21(2009)年4月23日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2009年16週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		13週	14週	15週	16週		16週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	87	71	61	51	1100	328	7290
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 * 鳥インフルエンザ (H5N1) **							
三類	コレラ							2
	細菌性赤痢					10	1	53
	腸管出血性大腸菌感染症		1	1	3	16	21	269
	腸チフス		1	1		6		9
	パラチフス					2		5
四類	E型肝炎					3	1	15
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					3		27
	エキノкокクス症					1		8
	黄熱							
	オウム病							1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		1
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					2	1	38
	デング熱				2	7	2	20
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							5
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア			2	1	11	1	21
野兔病								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症		1	1	2	19	6	177	
レプトスピラ症							2	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		13週	14週	15週	16週	年累計	16週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	2	4	2	43	14	259
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	2	1	1	1	16	3	61
	急性脳炎***				1	9	1	80
	クリプトスポリジウム症		1			1		2
	クロイツフェルト・ヤコブ病				3	6	2	32
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	4		37
	後天性免疫不全症候群	9	10	8	10	156	24	449
	ジアルジア症			3		13	4	26
	髄膜炎菌性髄膜炎							6
	先天性風しん症候群							
	梅毒	3	5	3	9	70	9	218
	破傷風					1	1	19
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	2	1	28
	風しん				1	3	3	61
	麻しん	2	3		2	31	21	255
2009/4/22計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** 2008年5月12日から指定された。

*** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 51件 肺結核33件、その他の結核9件、肺結核及びその他の結核3件、無症状病原体保有者5件、疑似症患者1件で、推定感染地はすべて国内。年齢は5歳未満1件、20歳代5件、30歳代11件、40歳代5件、50歳代5件、60歳代5件、70歳代9件、80歳代7件、90歳代3件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 3件 有症者2件、無症状病原体保有者1件で、血清型・毒素型はO157(VT1VT2)1件、O157(VT2)1件、O157(毒素型不明)1件、年齢は10歳未満1件、10歳代1件、50歳代1件であった。

〈四類感染症〉

デング熱2件 推定感染地はインドネシア1件、マレーシア1件であった。
マラリア 1件 熱帯熱マラリアで、推定感染地はガーナであった。
レジオネラ 2件 どちらも肺炎型で、年齢は60歳代1件、80歳代1件。推定感染地は東京都1件、新潟県1件で、推定感染経路は風呂の水の誤嚥1件、温泉1件であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 腸管アメーバ症1件、腸管及び腸管外アメーバ症1件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路は性的接触(異性間)1件、経口感染1件であった。
ウイルス性肝炎 1件 B型で、推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(異性間)であった。
急性脳炎 1件 病原体は単純ヘルペスウイルスで、年齢は60歳代であった。
クロイツフェルト・ヤコブ病 3件 古典型CJD1件、家族性CJD1件、医原性CJD1件で、30歳代1件、70歳代2件であった。
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 A群で、血液・浸出液・血泡から菌が分離・同定されている。足白癬からの感染が疑われており、第5病日に死亡している。
後天性免疫不全症候群 10件 無症候キャリア5件、AIDS 5件であった。無症候キャリアの年齢は10歳代1件、20歳代1件、30歳代3件で、AIDS患者の年齢は30歳代1件、40歳代2件、50歳代1件、60歳代1件であった。推定感染地は国内8件、不明2件で、推定感染経路は性的接触9件(同性間8件、異性間1件)、不明1件であった。
梅毒 9件 早期顕症梅毒Ⅰ期1件、早期顕症梅毒Ⅱ期4件、晩期顕症梅毒1件、無症候3件で、推定感染地は国内8件、フィリピン1件、推定感染経路は性的接触8件(同性間1件、異性間5件、不明2件)、その他(不明)1件であった。
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 創部感染症状を呈し、血液・創部から菌が分離・同定されている。耐性遺伝子はVanBであった。
風しん 1件 臨床診断例の5歳未満女性。風しん含有ワクチン接種歴は1回であった。
麻しん 2件 麻しん(臨床診断例)1件、修飾麻しん(検査診断例)1件で、年齢はどちらも10歳代、麻しん含有ワクチン接種歴は1回1件、不明1件であった。

定点把握対象疾患 報告数 2009年16週

定点種別	対象疾患	2009年					報告医療機関数	定点医療機関数
		13週	14週	15週	16週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	8	5	7	10	0.07	146	150
	咽頭結膜熱	30	23	39	30	0.21		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	247	218	225	219	1.50		
	感染性胃腸炎	828	833	930	1,071	7.34		
	水痘	174	161	160	157	1.08		
	手足口病	7	18	12	6	0.04		
	伝染性紅斑	34	39	44	32	0.22		
	突発性発しん	58	92	121	112	0.77		
	百日咳	4	5	8	7	0.05		
	ヘルパンギーナ	3	7	7	4	0.03		
	流行性耳下腺炎	114	111	80	93	0.64		
	不明発しん症 (注1)	11	14	7	19	0.13		
MCLS(川崎病) (注1)	1	0	1	1	0.01			
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	2,499	1,429	1,095	989	3.46	286	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	0	0	0	0.00	39	39
	流行性角結膜炎	18	12	14	13	0.33		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	0	1	0	0	0.00	24	24
	無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	7	13	6	6	0.25		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	0	0	1	0.04		

2009/4/22集計

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・百日咳の定点当たり報告数は微減した。しかし過去5年平均と比較して高いレベルで推移しており、引き続き注意が必要である。
- ・流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。今年に入ってから過去5年平均と比較して高いレベルで推移している。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は5週連続して減少した。しかし過去5年平均の同時期と比較して高いレベルで推移しており、引き続き注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

みなと保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:37名中、ロタウイルス10名。

大田区保健所管内定点医療機関

- ・インフルエンザ:今週は、B型4名とA型1名でした。
- ・インフルエンザ:今までB型がほとんどでしたが、久しぶりに1名A型ができました。

中野区保健所管内定点医療機関

- ・インフルエンザ:A型1名、B型13名、A型とB型ともに陽性1名。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2009年16週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	2			11	3			4	1	
～11か月	1	4	1	111	9	1		42		1
1歳	6	9	10	211	21	2		59		1
2歳	1	5	15	128	41	2	2	6		1
3歳		3	21	93	28		6	1		
4歳		3	34	93	21	1	5			
5歳		4	32	58	6		2		1	
6歳		1	25	53	6		3			
7歳		1	17	53	7		6			
8歳			16	40	3		4			
9歳			18	34	5		2			
10～14歳			23	62	6		2			
15～19歳			2	12						
20～29歳			5	112	1				5	1
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	10	30	219	1071	157	6	32	112	7	4
先週比	3	-9	-6	141	-3	-6	-12	-9	-1	-3

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		2		2		
～11か月		2		4		
1歳	1	5		23		
2歳	13	5	1	32		
3歳	20	2		56		
4歳	7	2		66		
5歳	15			89		
6歳	8	1		108		
7歳	3			80		
8歳	3			78		1
9歳	5			55		
10～14歳	9			136		1
15～19歳	3			82		
20～29歳	6			94		2
30～39歳				38		1
40～49歳				30		5
50～59歳				9		1
60～69歳				4		2
70～79歳				2		
80歳以上				1		
合計	93	19	1	989		13
先週比	13	12		-106		-1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2009年16週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳	1	
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		1
15～19歳		1
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	2

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2009年16週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田		1	2	8	1			2		
中央区				7	5					
みなと	1	3	6	43	4		2	8		
新宿区			13	46	2			3		
文京	1			8	2			1		
台東			9	35	6		1	1		
墨田区	2		5	13	2		1	3		
江東区			8	60	10			2		
品川区		2	10	62	1	1	1	4		
目黒区			1	16	1		2			
大田区	2	11	5	86	6		5	9	6	
世田谷			4	73	11		7	7		
渋谷区			4	23	1		1	2		
中野区			6	50	1		1	1		
杉並			8	46	5			3		
池袋				14	3					
北区			2	14	3			3		
荒川区		1	3	19	3		1	1		
板橋区		1		19	9		1	1		
練馬区			3	24	6	2		2		
足立		1	5	46	1	1		3		
葛飾区			6	26	4			3		1
江戸川	1	6	22	22	6		3	6		
八王子市		1	48	66	11			6	1	
西多摩			2	21	10			4		
南多摩			4	16	11			4		1
町田			23	76	13	2	6	13		2
多摩立川			2	14	3					
多摩府中	1	1	9	47	13			7		
多摩小平	2	2	9	71	3			13		
島しょ										
東京都合計	10	30	219	1,071	157	6	32	112	7	4

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】2009年16週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				11		
中央区				13		1
みなと	1			28		
新宿区	3	8		22		
文京			1	35		
台東	2			27		
墨田区	3	1		25		
江東区	3			33		1
品川区	1	1		10		
目黒区				4		
大田区	3			55		3
世田谷	3	1		41		
渋谷区	1			15		
中野区	6			38		
杉並	1			67		
池袋	1			50		
北区	1			13		
荒川区	1			18		1
板橋区	1			9		
練馬区	1			24		
足立	1			38		1
葛飾区	1	1		41		
江戸川	3			43		1
八王子市	36	3		59		2
西多摩	12			27		
南多摩	3			43		
町田	1	3		50		
多摩立川				40		
多摩府中	2	1		48		1
多摩小平	2			41		2
島しょ				21		

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		1
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市	1	
西多摩		
南多摩		1
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	93	19	1	989	-	13
-------	----	----	---	-----	---	----

東京都合計	1	2
-------	---	---

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2009年16週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田		0.25	0.50	2.00	0.25			0.50		
中央区				3.50	2.50					
みなと	0.17	0.50	1.00	7.17	0.67		0.33	1.33		
新宿区			2.17	7.67	0.33			0.50		
文京	0.33			2.67	0.67			0.33		
台東			3.00	11.67	2.00		0.33	0.33		
墨田区	0.67		1.67	4.33	0.67		0.33	1.00		
江東区			2.00	15.00	2.50			0.50		
品川区		0.33	1.67	10.33	0.17	0.17	0.17	0.67		
目黒区			0.33	5.33	0.33		0.67			
大田区	0.25	1.38	0.63	10.75	0.75		0.63	1.13	0.75	
世田谷			0.57	10.43	1.57		1.00	1.00		
渋谷区			1.00	5.75	0.25		0.25	0.50		
中野区			1.00	8.33	0.17		0.17	0.17		
杉並			1.33	7.67	0.83			0.50		
池袋				2.80	0.60					
北区			0.67	4.67	1.00			1.00		
荒川区		0.50	1.50	9.50	1.50		0.50	0.50		
板橋区		0.17		3.17	1.50		0.17	0.17		
練馬区			0.60	4.80	1.20	0.40		0.40		
足立		0.20	1.00	9.20	0.20	0.20		0.60		
葛飾区			1.50	6.50	1.00			0.75		0.25
江戸川	0.20	1.20	4.40	4.40	1.20		0.60	1.20		
八王子市		0.25	12.00	16.50	2.75			1.50	0.25	
西多摩										
南多摩			1.00	4.00	2.75			1.00		0.25
町田			5.75	19.00	3.25	0.50	1.50	3.25		0.50
多摩立川			0.33	2.33	0.50					
多摩府中	0.10	0.10	0.90	4.70	1.30			0.70		
多摩小平	0.33	0.33	1.50	11.83	0.50			2.17		
島しょ										

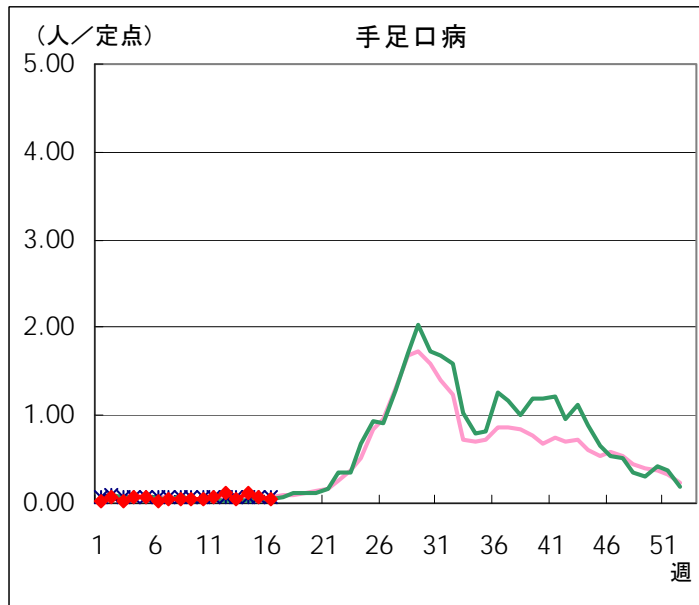
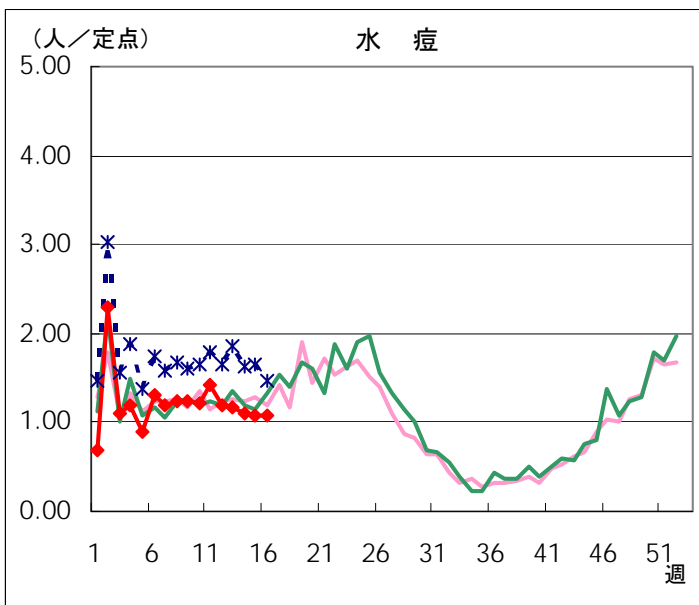
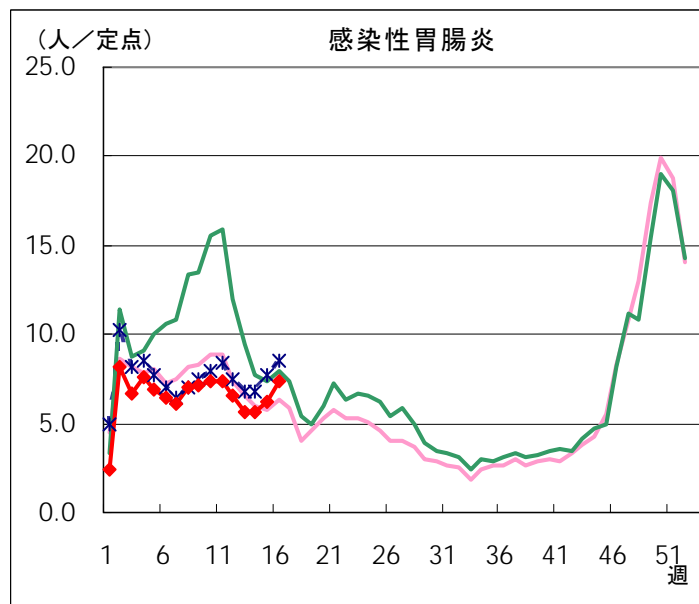
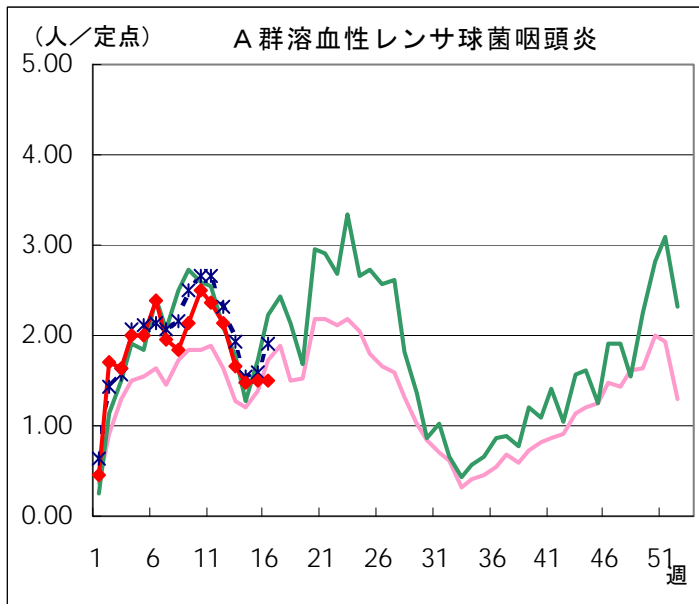
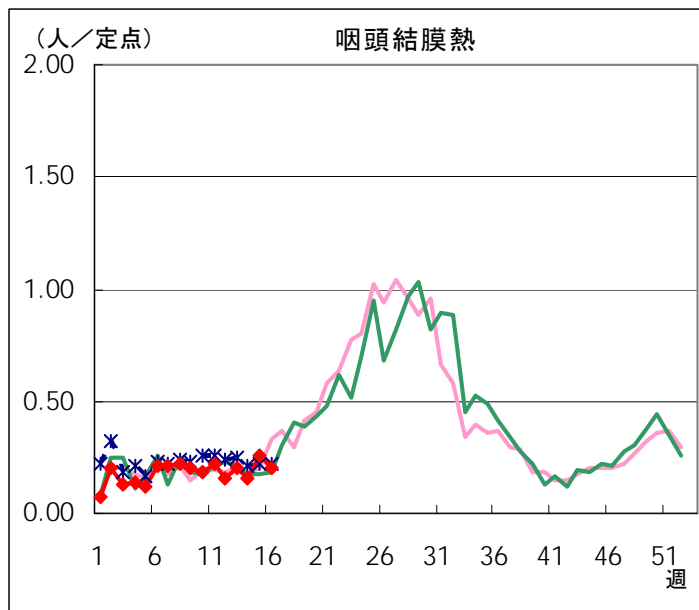
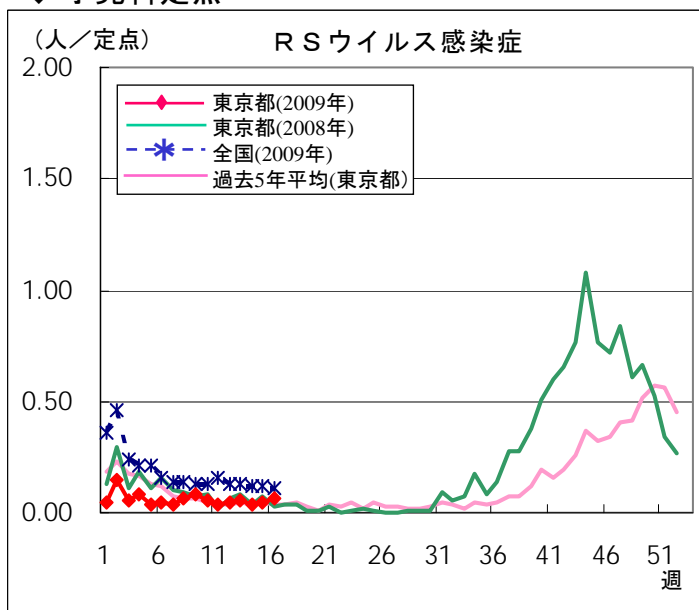
東京都	0.07	0.21	1.50	7.34	1.08	0.04	0.22	0.77	0.05	0.03
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

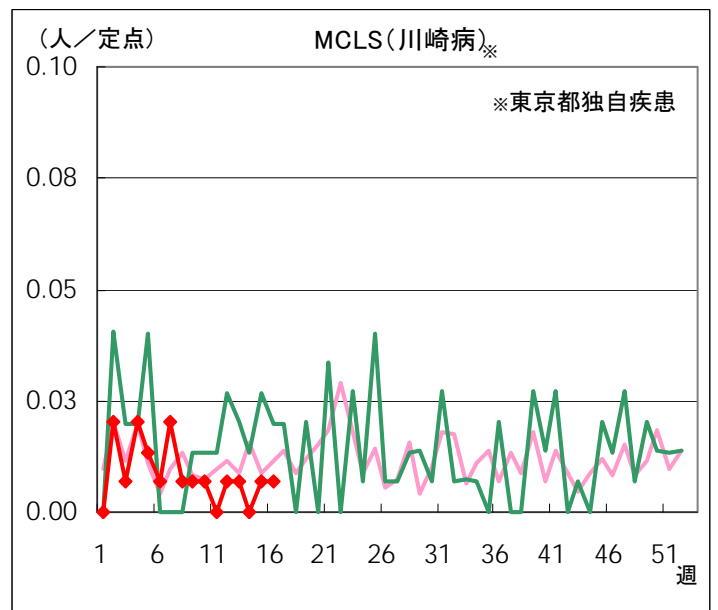
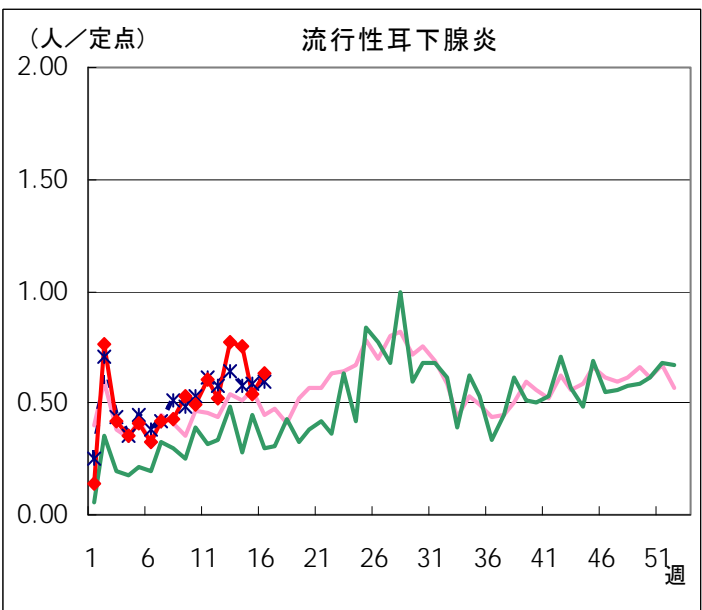
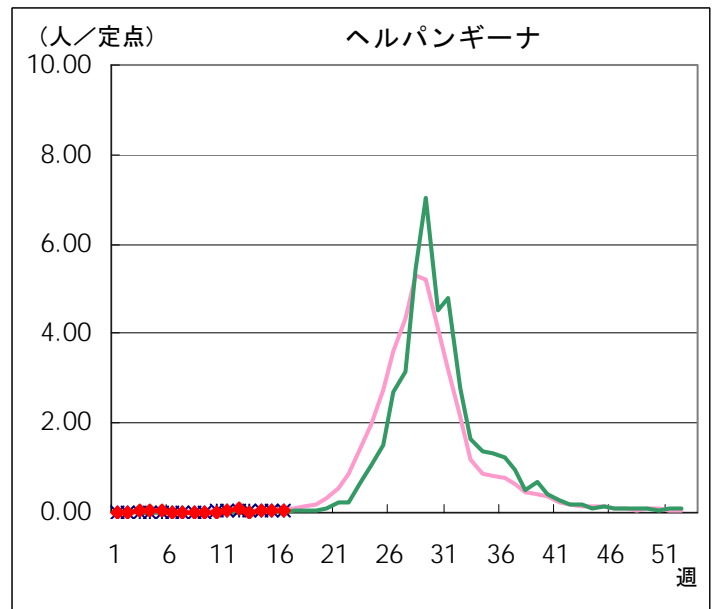
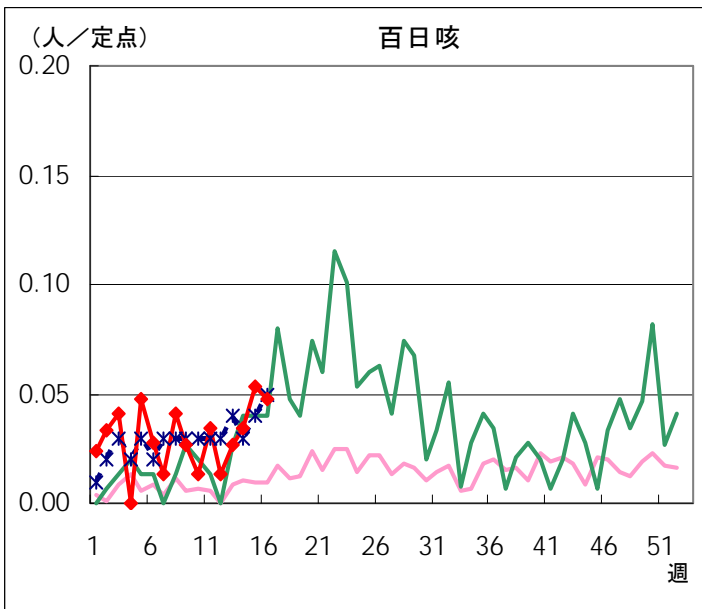
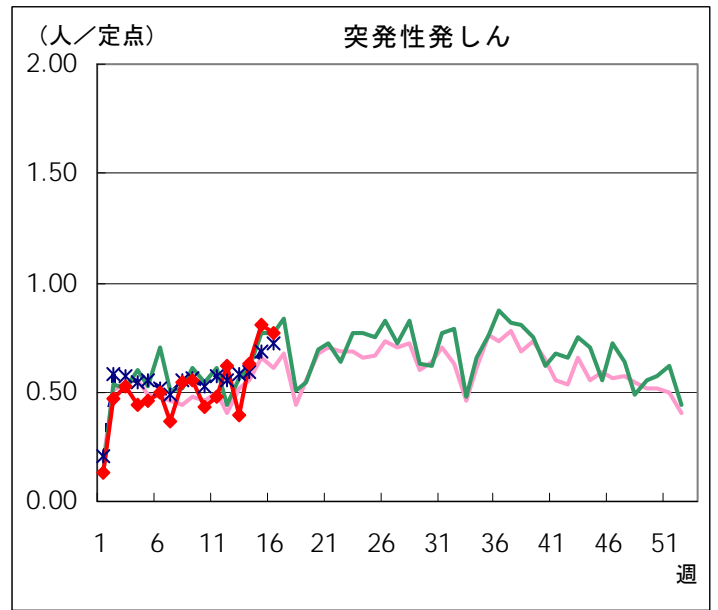
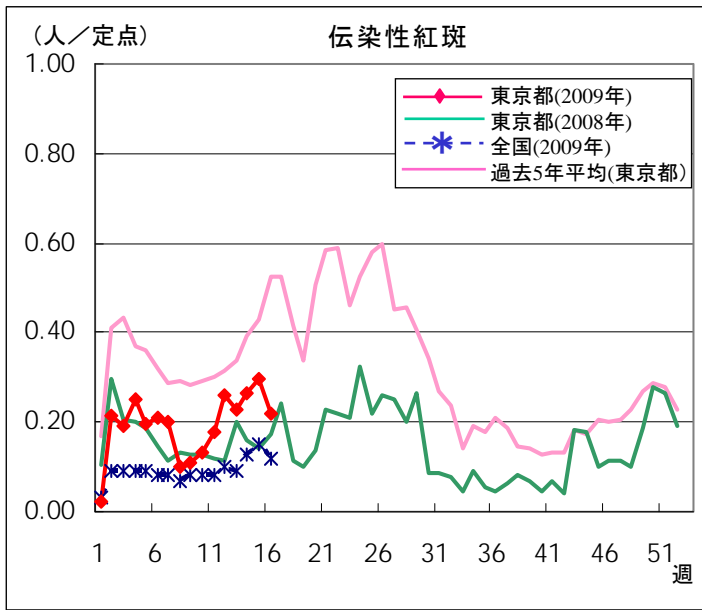
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				2.20		
中央区				4.33		1.00
みなと	0.17			3.50		
新宿区	0.50	1.33		2.44		
文京			0.33	7.00		
台東	0.67			5.40		
墨田区	1.00	0.33		4.17		
江東区	0.75			3.67		1.00
品川区	0.17	0.17		1.00		
目黒区				0.67		
大田区	0.38			3.67		1.50
世田谷	0.43	0.14		2.73		
渋谷区	0.25			2.50		
中野区	1.00			4.22		
杉並	0.17			5.58		
池袋	0.20			6.25		
北区	0.33			1.86		
荒川区	0.50			4.50		1.00
板橋区	0.17			0.75		
練馬区	0.20			2.00		
足立	0.20			3.17		0.50
葛飾区	0.25	0.25		4.56		
江戸川	0.60			3.58		0.50
八王子市	9.00	0.75		5.90		1.00
西多摩				3.00		
南多摩	0.75			4.78		
町田	0.25	0.75		5.56		
多摩立川				3.08		
多摩府中	0.20	0.10		2.29		0.33
多摩小平	0.33			2.93		1.00
島しょ				10.50		

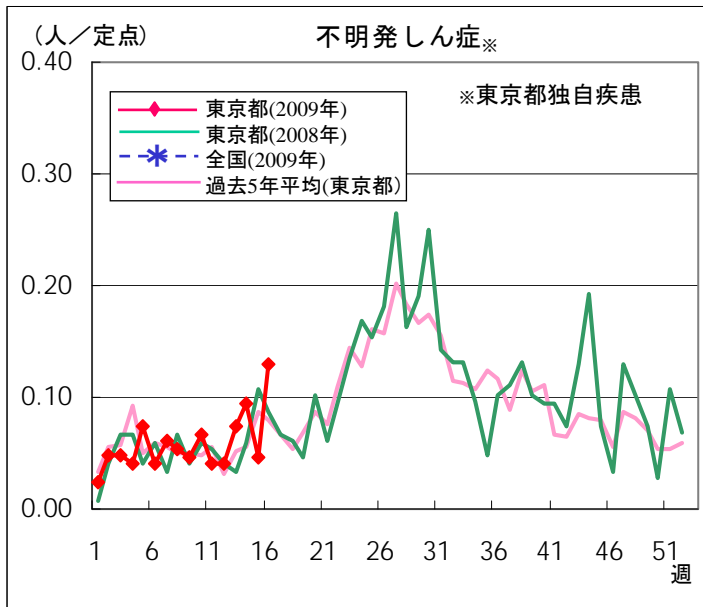
東京都	0.64	0.13	0.01	3.46	-	0.33
-----	------	------	------	------	---	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2009年16週現在

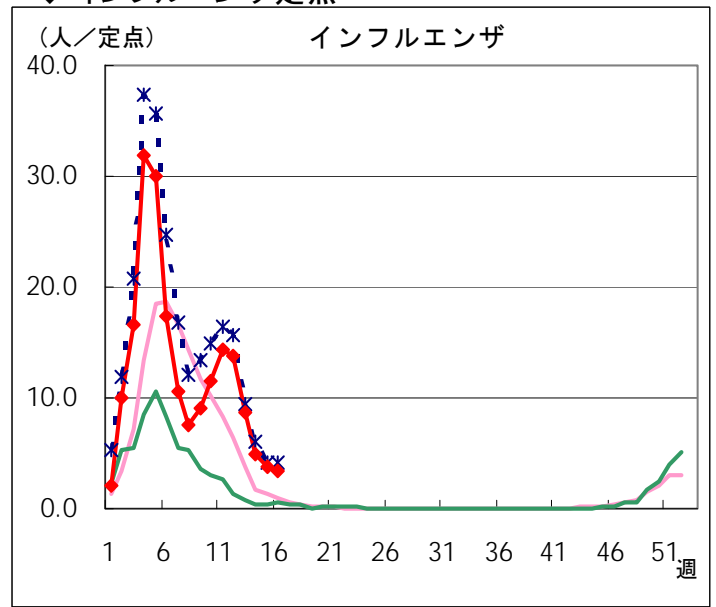
◆ 小児科定点



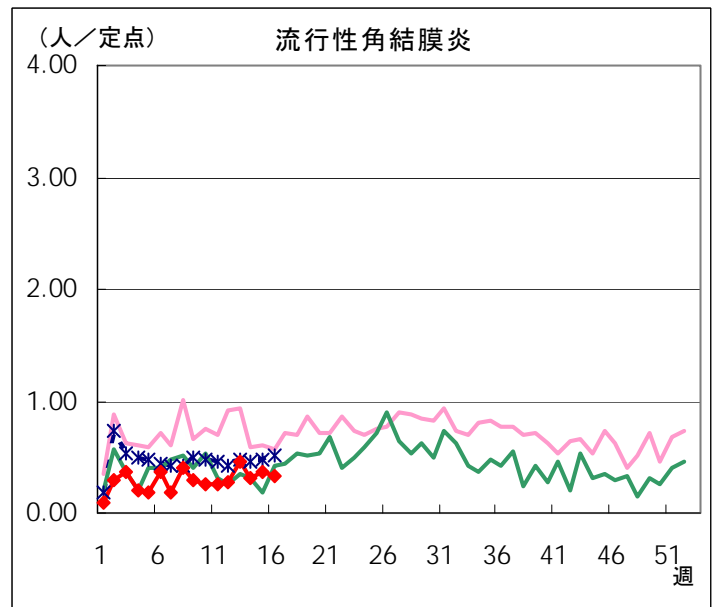
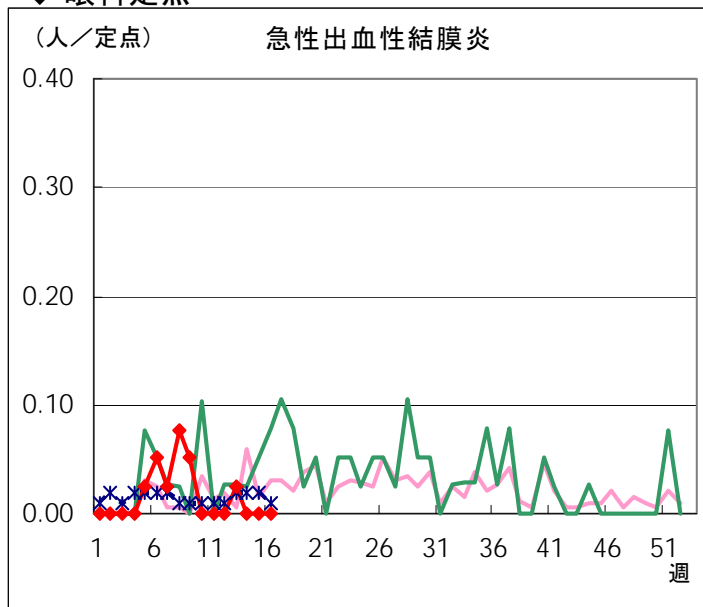




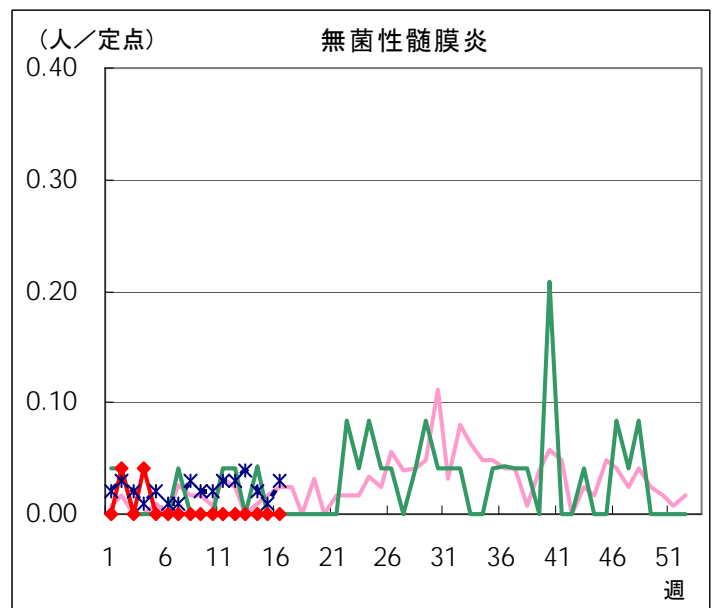
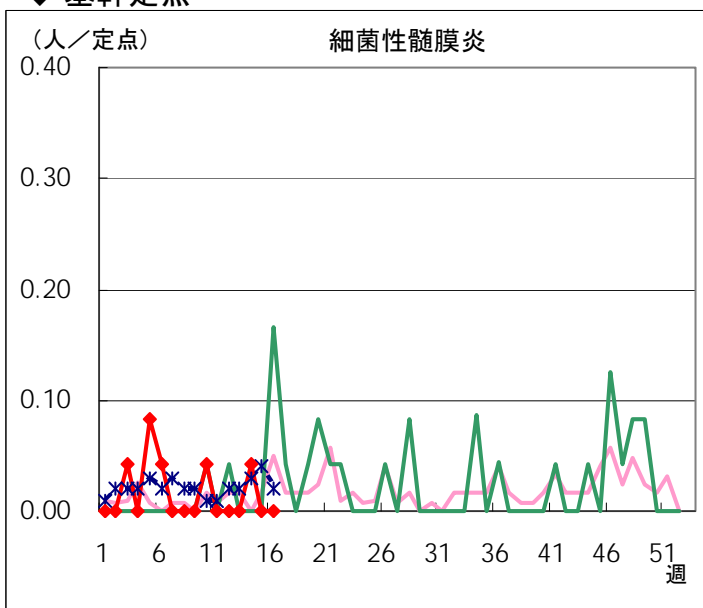
◆ インフルエンザ定点

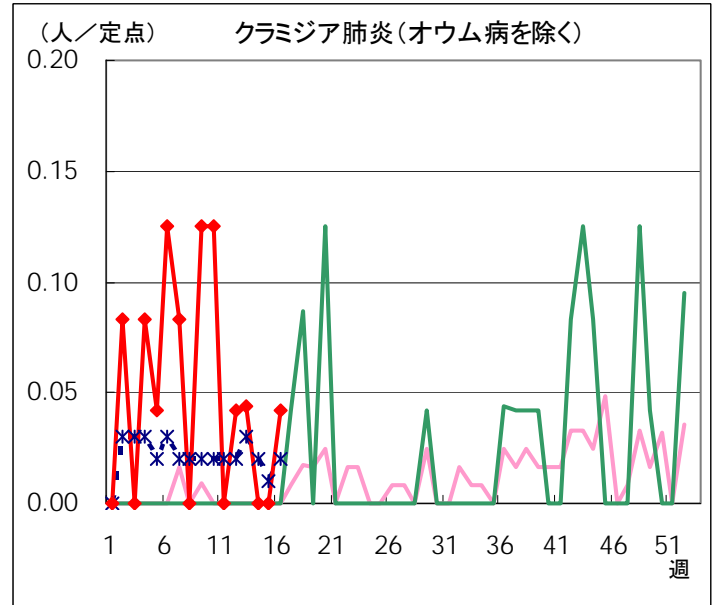
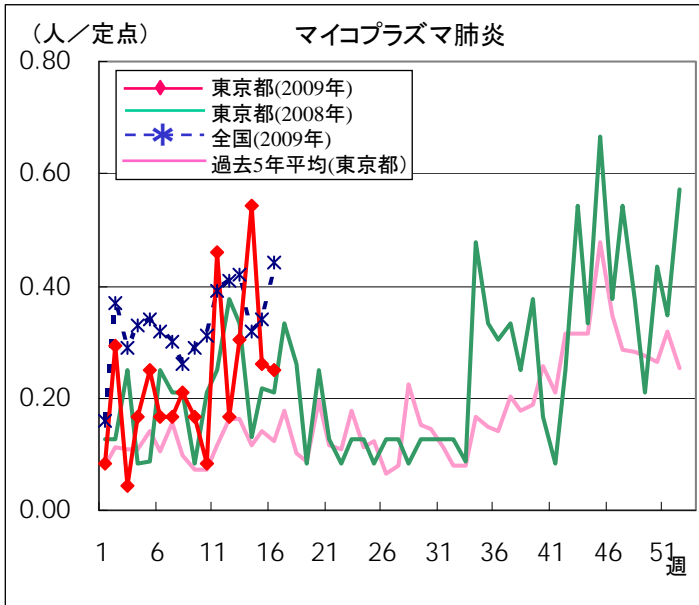


◆ 眼科定点

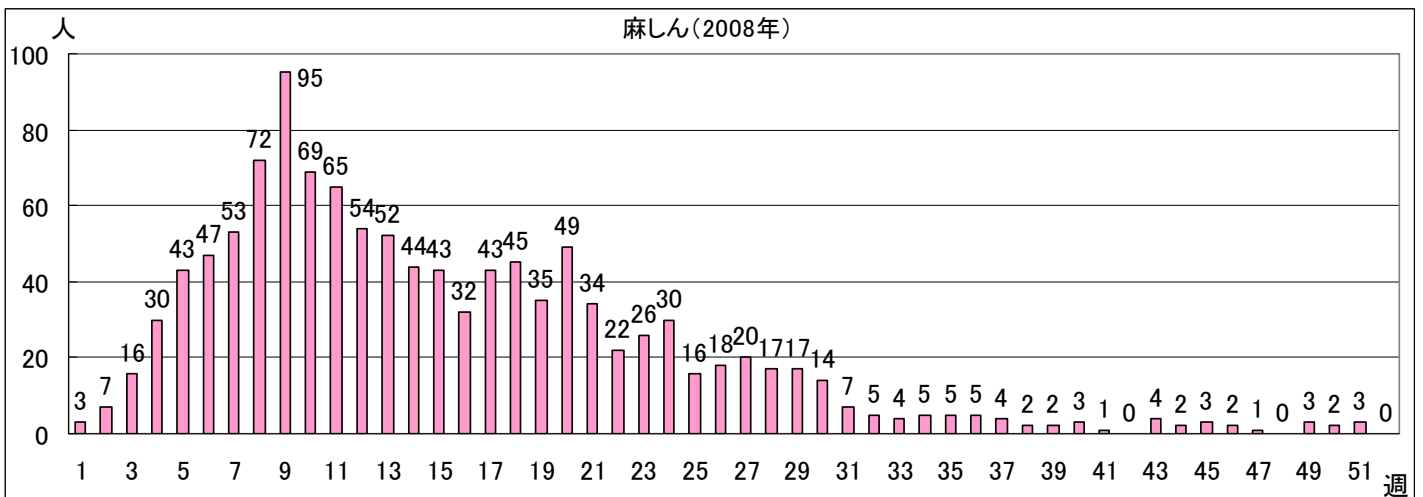
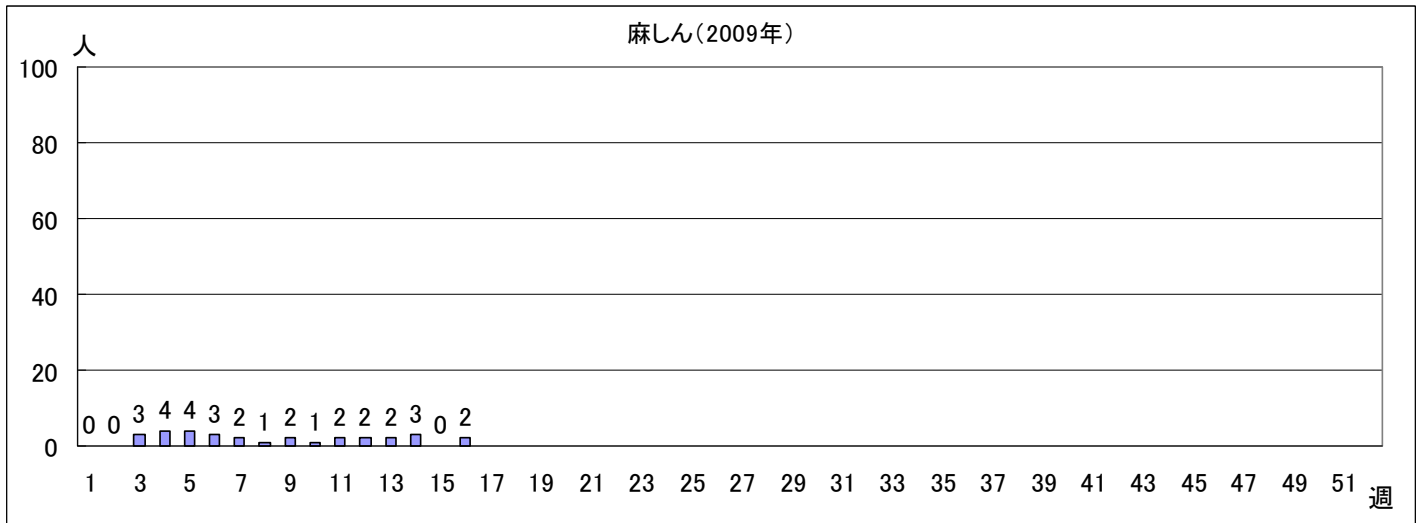


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2009年16週現在



病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
3/30	感染性胃腸炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
4/1	流行性耳下腺炎	2	咽頭拭い液	ライノウイルス、ムンプスウイルス	
4/2	流行性耳下腺炎	12	咽頭拭い液	ムンプスウイルス、EBウイルス	
4/2	流行性耳下腺炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス ムンプスウイルス、EBウイルス	
4/3	急性気管支炎	6	咽頭拭い液	アデノウイルス、エンテロウイルス	
4/3	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス	
4/4	急性腸炎	3	糞便	カンピロバクター・ジェジュニ	分離同定
4/4	感染性胃腸炎	9M	糞便	A群ロタウイルス ノロウイルス、アデノウイルス	抗原 遺伝子
4/4	感染性胃腸炎	12	糞便	ノロウイルス	遺伝子
4/4	感染性胃腸炎	1	糞便	A群ロタウイルス	抗原
4/4	肺炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス	遺伝子
4/4	急性気管支炎	3	咽頭拭い液	ライノウイルス	
4/6	不明発しん症	5M	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
4/6	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型 サイトメガロウイルス	
4/6	流行性耳下腺炎	2	咽頭拭い液	ムンプスウイルス、EBウイルス	
4/6	急性細気管支炎 RSウイルス感染症	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
4/6	流行性耳下腺炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス ムンプスウイルス	
4/6	不明熱	11M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型 EBウイルス	
4/6	不明熱	5	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型 ヒトヘルペスウイルス6型7型 EBウイルス	
4/7	流行性耳下腺炎	8	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
4/7	急性小脳失調症	6M	髄液	エンテロウイルス	遺伝子
4/7	不明発しん症	7	咽頭拭い液	水痘・帯状疱疹ウイルス	
4/7	無菌性髄膜炎	14	髄液	エンテロウイルス	
4/7	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス	
4/8	溶連菌感染症	10	咽頭拭い液	<i>S.pyogenes</i> (T-25型) MSSA (コアグララーゼIV型)	分離同定 血清型
4/8	伝染性紅斑	4	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
4/8	不明発しん症	41	咽頭拭い液	アデノウイルス	
4/9	RSウイルス感染症	2	咽頭拭い液	ライノウイルス	
4/9	流行性耳下腺炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
4/9	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス	
4/9	不明熱	2	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
4/9	不明熱	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型	

◇定点医療機関から搬入された検体の遺伝子検査法による亜型

亜型検出件数	インフルエンザウイルス		
	AH1型	AH3型	B型
15週	3	2	7
今シーズン累計	220	103	84

オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況

4/22現在

調査方法	A/H1N1分離株	耐性株
感染症発生動向調査	33	33
学級閉鎖等	20	20

詳しくは<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/>を参照下さい。

病原体検査情報 【検出病原体別・週別】

検出病原体		2009年							
		8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週
ウイルス	アデノウイルス	11	4	7	5		10	3	9
	ライノウイルス	2	1	6	8		7	1	6
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	2	1	5		1	2	2	3
	単純ヘルペスウイルス	1	3						
	水痘・帯状疱疹ウイルス								1
	ヘルペスウイルス6/7	2	5	4	2		4	3	5
	EBウイルス	2	2		2	1	2	4	5
	サイトメガロウイルス	1	1	1	1				2
	ムンプスウイルス	1	2	2	5	2	8	3	8
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19								
	RSウイルス	1				1			
	ノロウイルス	5				1	3		2
	ロタウイルス		1	3		2	1	1	2
	インフルエンザウイルスAH1	12	5	3	5			1	3
	インフルエンザウイルスAH3	7		4	1			2	2
	インフルエンザウイルスB	5	6	13	21		8	6	7
デングウイルス(抗体を含む)		1							
その他のウイルス	1	1	1					3	
細菌	カンピロバクター	1							1
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌			3	6	1			1
	その他の細菌			3			1	1	1
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2009年8週～2009年15週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘル パン ギー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	
搬入検体数	124	25	29	60	36	10	11	5	1	4	2	29	31	1			109	
ウ イ ル ス	アデノウイルス	6	7	9	4		2	1		2	1	3	4				10	
	ライノウイルス		5	9	1		2				1	2	8				3	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	1		2	3	3			1	3								3
	単純ヘルペスウイルス											2						2
	水痘・帯状疱疹しんウイルス											1						
	ヘルペスウイルス6/7				2	2				1		8	4					8
	EBウイルス												7	1				10
	サイトメガロウイルス			1	1							4						
	ムンプスウイルス					3							23	2				3
	麻しんウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19																	
	RSウイルス		1	1														
	ノロウイルス				10													1
	ロタウイルス			3	7													
インフルエンザウイルスAH1	29																	
インフルエンザウイルスAH3	16																	
インフルエンザウイルスB	63	1															2	
デングウイルス(抗体を含む)																	1	
その他のウイルス		1	3	2														
細 菌	カンピロバクター				2													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌							11										
その他の細菌	1	2		1			1										1	
その他の病原体																		

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2009年3月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	81	1.53	53	55
		女	87	1.64		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	47	0.89		
		女	30	0.57		
	尖圭コンジローマ	男	40	0.75		
		女	22	0.42		
	淋菌感染症	男	68	1.28		
		女	12	0.23		
	膣トリコモナス症*	男	0	0.00		
		女	8	0.15		
梅毒様疾患	男	5	0.09			
	女	0	0.00			
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	69	3.00	23	24
		女	20	0.87		
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	24	1.04		
		女	22	0.96		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	1	0.04		
		女	2	0.09		
2009/4/10						

* 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2009年3月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	3			1		
20～24歳	13	7	4	9		1
25～29歳	12	8	8	18		1
30～34歳	13	9	5	14		
35～39歳	11	8	8	5		
40～44歳	11	6	5	10		1
45～49歳	8	5	3	5		
50～54歳	3	1	3	1		
55～59歳	3	2	1	4		
60～64歳	4	1	1	1		1
65～69歳			2			1
70歳～						
合計	81	47	40	68		5
先月数	89	43	34	51	1	3
増減数	-8	4	6	17	-1	2

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	9		1	1		
20～24歳	27	7	4	6	1	
25～29歳	27	7	6	2	2	
30～34歳	12	4	5			
35～39歳	4	4	1	1	1	
40～44歳	5	1	2	1	1	
45～49歳	2	5	1			
50～54歳					1	
55～59歳	1	2		1		
60～64歳					2	
65～69歳						
70歳～			2			
合計	87	30	22	12	8	
先月数	97	23	5	19	9	2
増減数	-10	7	17	-7	-1	-2

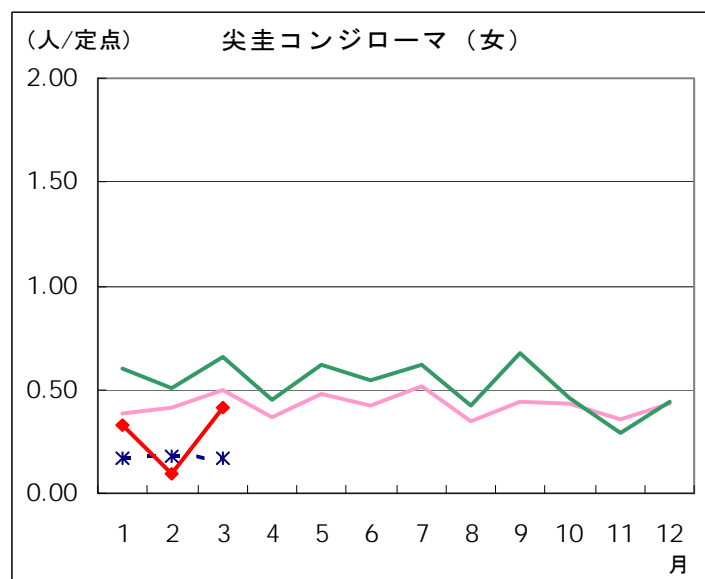
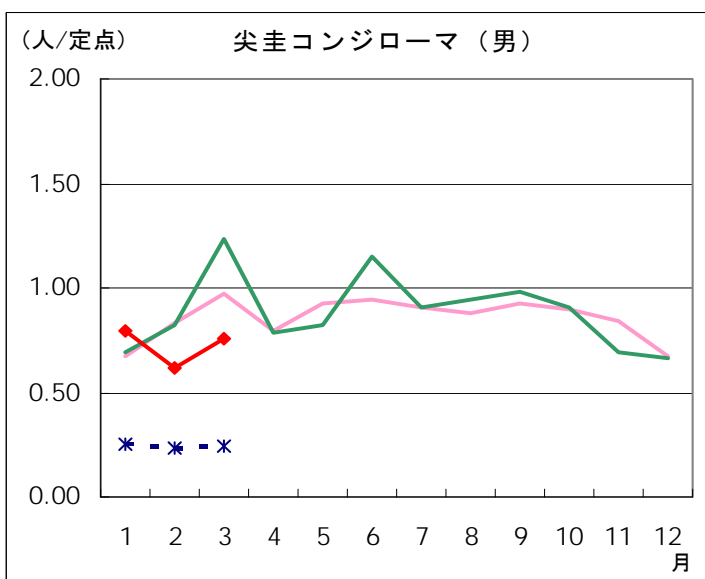
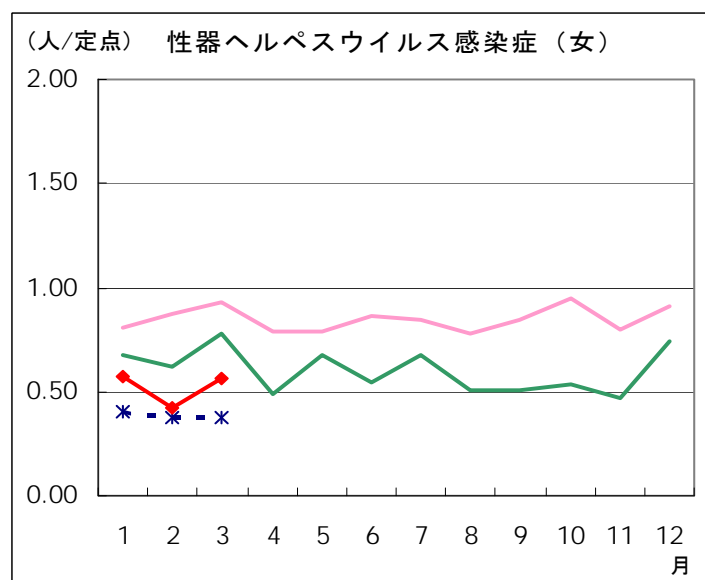
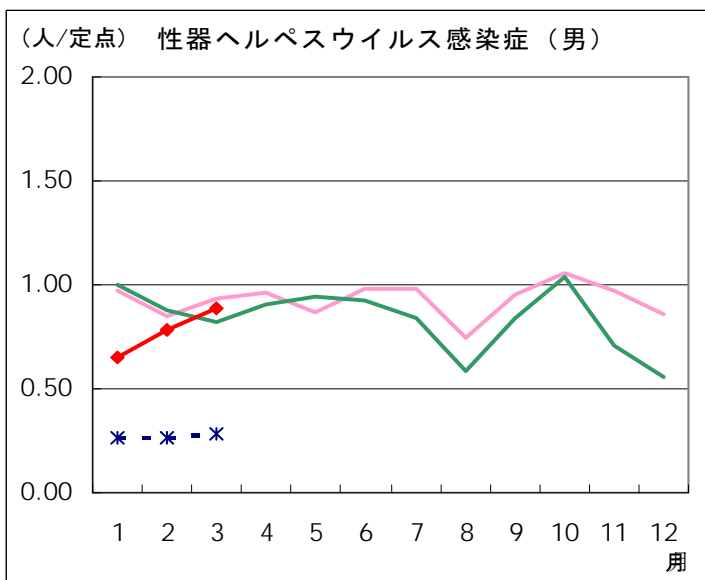
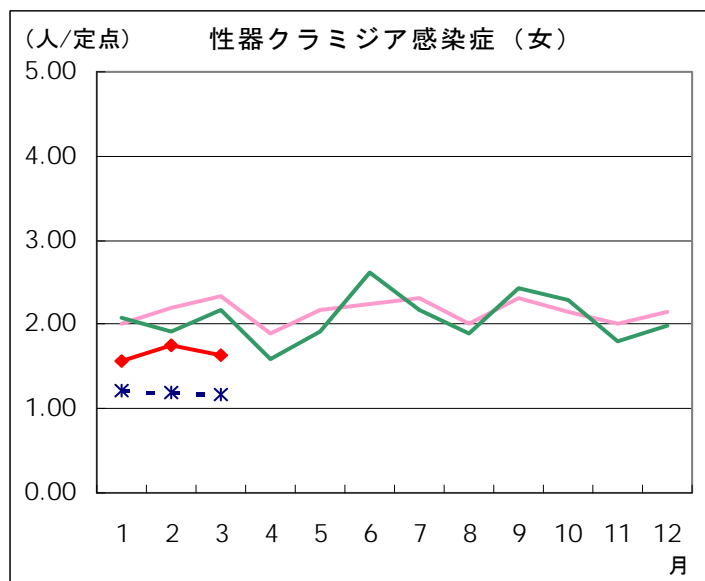
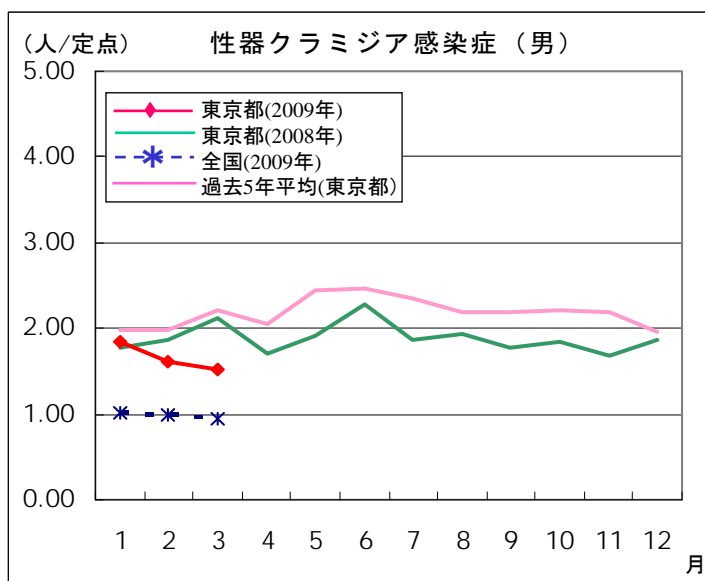
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2009年3月

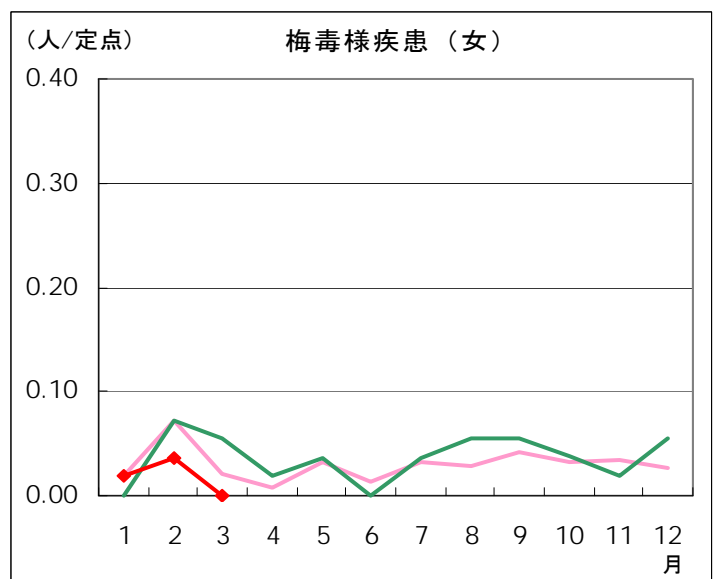
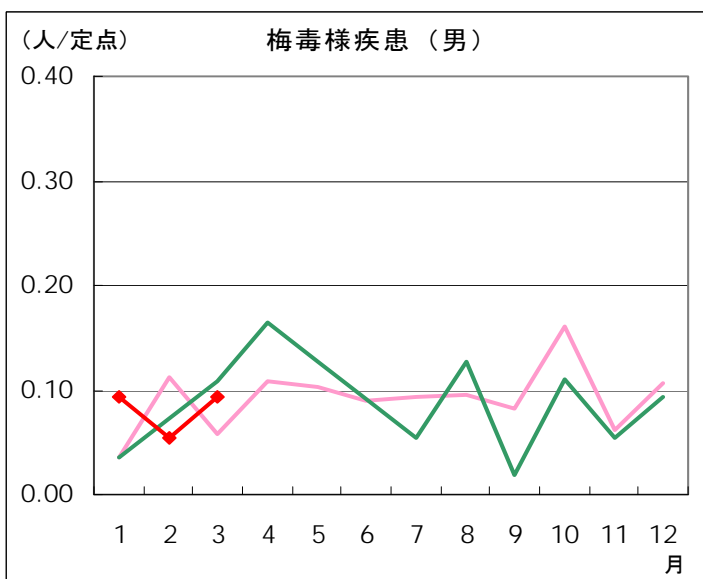
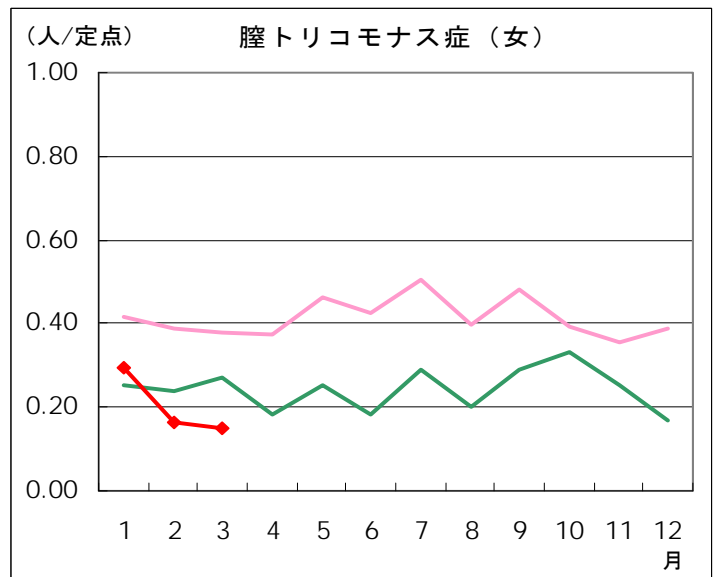
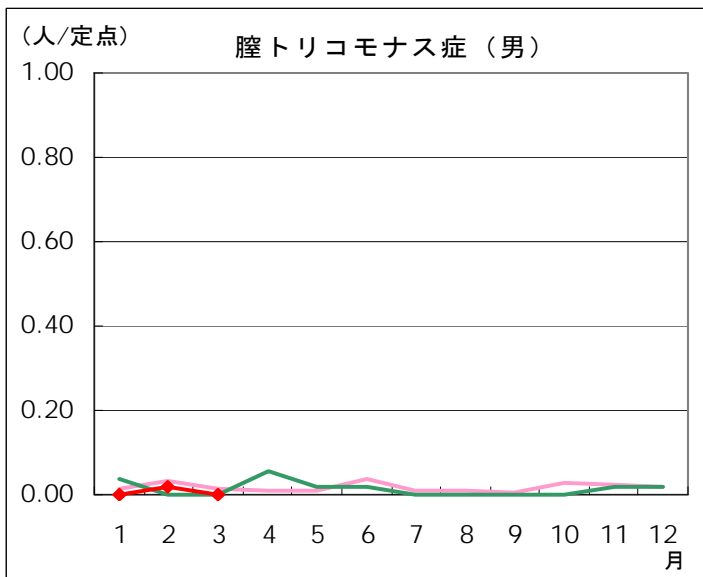
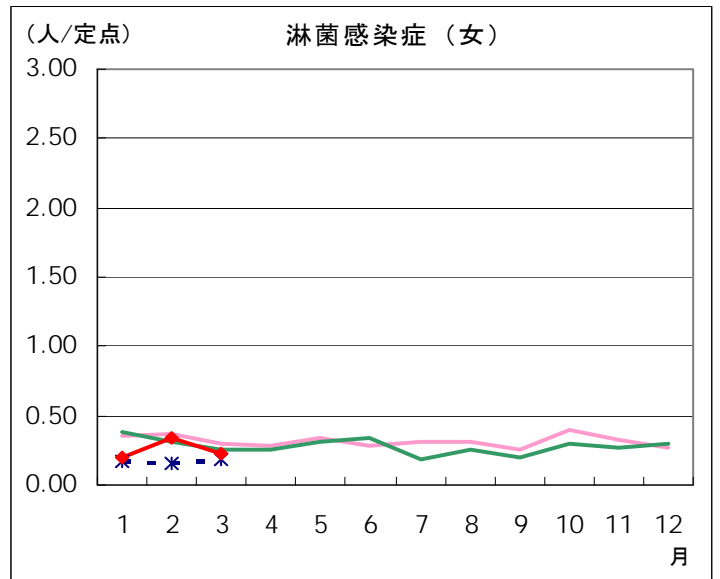
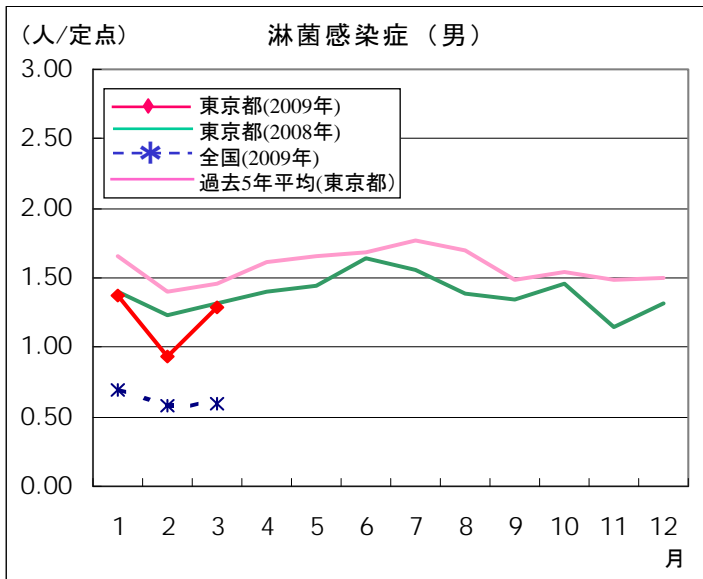
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	12	6	3	11		
中央区	3	6			3		
みなと	2	4	2	2	1		
新宿区	6	18	17	21	18		2
文京	1	1			2		
台東	3		4		1		
墨田区	2	5	1		5		
江東区	2	3	5	3	9		
品川区	1		1				
大田区	2	2			3		
渋谷区	4	8	1	1			
中野区	2	3			3		2
杉並	1	1	1	2			
池袋	3	11	6	5	4		1
北区	1		1	2			
荒川区	1						
板橋区	2	1	1		4		
足立	2	2	1	1	1		
江戸川	2	4			3		
八王子市	4						
町田	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3						
多摩小平	1						
合 計	53	81	47	40	68		5
定点当たり		1.53	0.89	0.75	1.28		0.09

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	1			1		
中央区	3	1	1	1		1	
みなと	2	2	5	1	1	1	
新宿区	6	8	4	2		1	
文京	1						
台東	3	7	1	1	3	2	
墨田区	2	1		1			
江東区	2	2	2		1	1	
品川区	1						
大田区	2	4					
渋谷区	4	3	7	6			
中野区	2	1		1	2	1	
杉並	1						
池袋	3	8	4	3	1		
北区	1						
荒川区	1	1		1			
板橋区	2	5				1	
足立	2						
江戸川	2	10	2	1	1		
八王子市	4	5	2	2			
町田	1	2		1			
多摩立川	2	24	2	1	2		
多摩府中	3						
多摩小平	1	2					
合 計	53	87	30	22	12	8	
定点当たり		1.64	0.57	0.42	0.23	0.15	

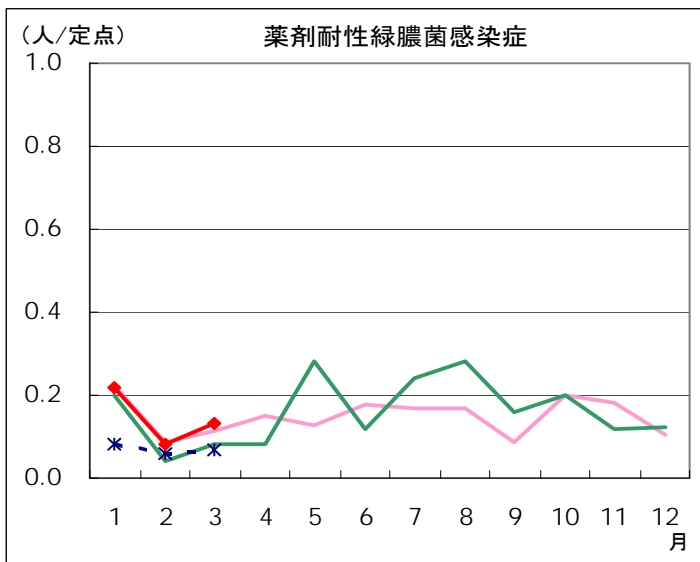
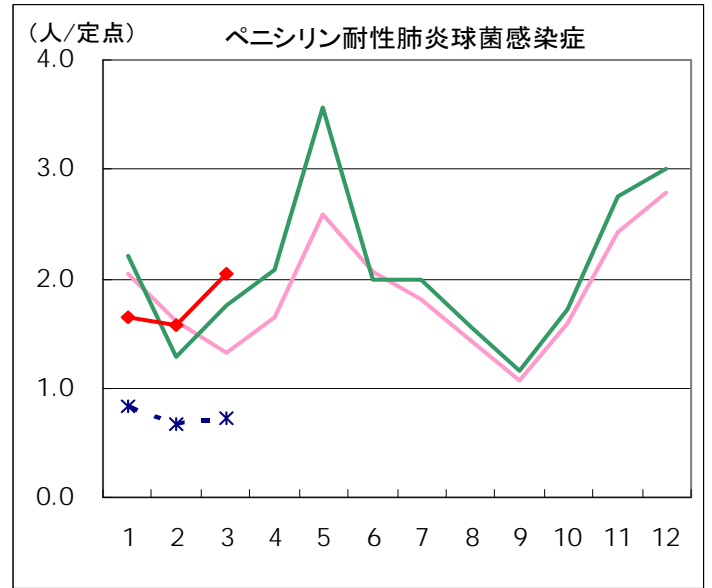
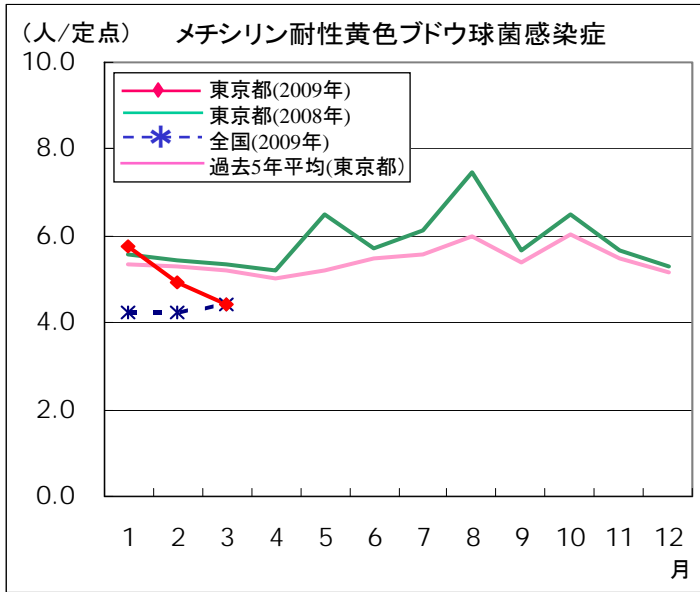
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2009年3月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
3/10	陰茎コンジローマ	31	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス6型	遺伝子
3/10	尿道炎	28	男	尿	淋菌	
3/11	淋菌性尿道炎	25	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
3/12	陰茎コンジローマ	38	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス6型	遺伝子
3/12	淋菌性尿道炎	43	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
3/12	淋菌性尿道炎	29	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
3/16	陰茎ヘルペス	58	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	遺伝子
3/17	陰茎ヘルペス	53	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	
3/17	陰茎ヘルペス	30	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	
3/18	尿道炎	44	男	尿	クラミジア、淋菌	遺伝子 分離同定
3/19	尿道炎	34	男	尿	クラミジア	遺伝子
3/24	外陰部ヘルペス	26	女	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス1型	
3/25	尿道炎	24	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	クラミジア	
3/25	尿道炎	45	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定

狂犬病

2006年11月、36年ぶりに人の狂犬病の輸入感染が発生し、本病の存在を忘れていた日本人に驚愕のニュースとなった。本病は狂犬病ウイルスによる致死性の人獣共通感染症で、すべての哺乳類に感染する。狂犬病ウイルスはリッサウイルス属で、他に分子生物学的に違う6種の狂犬病類似ウイルスが分類されている。近年、中央アジアのコウモリから4種のリッサウイルスが分離されているが未分類である。狂犬病類似ウイルスにより発病した場合はリッサウイルス感染症という。狂犬病発病初期は感冒様症状と咬傷部の知覚異常、飲水時や風による刺激で痙攣発作性の恐水・恐風状態になる。狂騒期は知覚過敏、嚥下障害、幻覚、錯乱、全身麻痺を起こし、4～14日間の経過後、呼吸停止で死亡する。なお咬傷部の痺れや痒み、恐水・恐風発作は数日間と言われる。診断時に脳炎症状が見られる場合は、意識障害を起こしている可能性があるため、家族等から海外渡航歴、動物接触歴を聴取する。ヒト-ヒト感染は起こりづらい。確定診断は唾液、髄液、項部の皮膚生検標本から、蛍光抗体法やRT-PCR法によるウイルス抗原もしくは遺伝子を証明する。発病後の治療方法はない。発病動物の咬傷を受けた場合は、速やかに傷口を流水と石鹸水で丁寧に洗浄し、直ちに暴露後発病予防の狂犬病不活化ワクチンを6回接種する。必要に応じて傷口周囲に抗狂犬病人免疫グロブリン(HRIG)を投与する。しかしHRIGは日本では入手不能である。人に対する感染源動物である犬へのワクチン接種は、一番の予防である。危険地域への海外渡航には予めワクチンを接種する。また、救急外来関係者は普段からきちんと感染防御法を実施していると良い。

(文責 NPO 法人日本パスツール協会理事 池田忠生)